

区民健診・がん検診の改善を 若者の居場所を、子どもの健康、平和事業の充実求める

日本共産党
足立区議団ニュース

2006 3 14
NO.5
日本共産党足立区議団
中央本町1-17-1足立区役所内
e-mail:acmp@blue.ocn.ne.jp
区議団ホームページ
http://www.adachi-jcp.jp/



質問するさとう純子議員

予算委員会5日目、総括質疑が行われ、さとう純子議員は若者の居場所づくり、平和事業、生活習慣病予防、子どもの健康など取り上げ、鈴木けんいち議員は、介護保険で質問しました。

さとう純子議員の質問の要旨は次のとおりです。

東綾瀬アイススケート場の復活、音楽スタジオの増設を

○質問—金メダル受賞後の記者会見での、荒川静香さんは「私が基礎をつくりあげてきたリンクが閉鎖されて、子どもたちは困っています。フィギュアの人気が高まるのと反対に、リンクをめぐる状況はよくありません。もう少し身近で気軽に足を運べるような環境になっていくよう願っています」と話した。東綾瀬のスケートリンクは、設備整備をすれば復活することができると思うがどうか。

●答弁—スケートを習いたい人は増えているが復活は困難。

○質問—若者から「太鼓、ロックバンドなどの練習ができるスタジオが欲しい」との要望が寄せられている。鹿浜小学校には、音楽室を改装した施設があり、ギャラクシテイの中にも5室の音楽室ができた。施設を区内全域に拡大するために、綾瀬、千住、竹ノ塚周辺にもつくる計画を立ててはどうか伺う。

●答弁—千住の福祉事務所跡に音楽室をつくる予定。

全員に生活習慣病予防健診・インフルエンザ予防接種の通知を

○質問—生活習慣病予防健診は、平成10年まで、対象者全員に通知があり、受診率も高かった。廃止後、わが党は再三、個別通知の復活を求めてきた。

05年度予算委員会でのわが党の質問に答えて、前年度受けた方全員に通知が行くようになった。17年度は補正予算を付けるほど受診者が増えた。増えた要因は、個別通知を行なったからと思うがどうか。

●答弁—たしかにこの指摘のとおり。

○質問—区は4月から、生活習慣病予防健診を受診する65歳以上の方には、介護予防に重点をおいた健診を行うとして、「生活習慣病予防健診受診票」と併せ、生活機能評価を受けるための受診票である「介護予防チェック票」を発行する。区民は、健診のときに「生活習慣病の受診票」と「介護

予防チェック票」を提出して、医師の判断と地域包括支援センターのチェックで「特定高齢者」と決定した方のみ「介護予防サービス」が受けられる。医療と介護がいっしょになった新しい仕組みになったということで、65歳以上すべての方が対象であると思うが対象は何人か。

●答弁—約6万人

○質問—「介護予防サービス」を受けていただくためには入り口で止めてはならない。65歳以上のすべての方に個別通知を行なうのは当然と思うがどうか。

●答弁—現時点では通知する考えはない。

○質問—わが党は前立腺がん検診の実現と、乳がん（マンモグラフィ検査）の改善を求めてきた。今年度、前立腺がん検診が実施され、18年度4月からは、乳がん検診は1年を通して申し込みができるようになり、受診機会が広がっている。さらに、乳がん検診の自己負担二千円を千円に、前立腺がん検診の自己負担千円を無料にすべきと思うがどうか。

●答弁—裕福な区ならできるが、下げる考えはない。

○質問—お金はある、使い方を考えればできる。

あだち広報に「予防接種は、インフルエンザの発病をへらしたり、病状を緩和するなど、入院の予防になります」とある。昨年12月我が党の代表質問で、公害患者の喘息発作は、命にかかわる問題として「公害認定患者のインフルエンザ予防接種費用に助成を」と質問し、65歳以上の公害認定患者は無料で受けられるようになり、大変喜ばれている。

対象者全員に受けて欲しいが、足立区では対象者の33・6%しか受けていない。板橋区では、全員に個別通知して、42・9%が受けている。また、18年度予算には公害認定患者は約500人いるのに、250人しか計上していない。多くの方に受けてもらうためには、足立区でも実施をすべきと思うがどうか。

●答弁—義務的なものではないので通知しない。

子どもの健康の実態示し健康学園の復活を求める

○質問—児童・生徒の健康について「学校保健統計書」によると、肥満傾向（学校医により肥満傾向で特に注意を要すると判定されたもの）が小学校で1179人。気管支喘息（ここ1年以内に、気管支喘息と判定された、または医療機関で経過観察管理中の者）小学校で合計1850人。栄養不良（学校医により栄養不良で特に注意を要すると判定された者）5年生に3人、6年生に6人となっており、気がかりである。

不登校も、16年度通算30日以上長期欠席が、小学校312人、中学419人。連続30日以上不登校は小学校88人、中学校334人となっている。

まさに、健康学園は足立区の子どもたちにとってなくてはならない施設である。上総湊健康学園はまだ売却できず、体育館のアスベストの除去工事で498万円

介護保険料

「税制改正」と重なり2・2倍の値上げになる人も

日本共産党 保険料の値上げストップ、通所昼食代軽減策を提案

かけている。売却を止めて、健康学園を復活すべきと思うがどうか。

●答弁―健康上の課題は足立区に多いが復活は考えていない。

○質問―江北の神領掘りの整備は、近隣の方から悪臭や害虫の発生、粗大ゴミの投げ入れなど改善が求めら、埋め戻し工事がほとんど終わった。しかし、50mほどの部分の埋め戻しが残っている。臭いがひどく一日も早い改善を求められているがどうか。

●答弁―平成19年に、当初より2年前倒しで行う。

*その他、憲法制定60周年の節目を迎え、真の国際平和の尊さ、核兵器廃絶の世論を高めるため、平和事業(平和の使節派遣・平和映画祭・子ども議会など)を行うことを提案した。

鈴木けんいち議員の質問要旨は次のとおりです。



質問する鈴木けんいち議員

○質問―介護保険会計で保険料が15億円余の増額になっていくが、区は推進協の答申どおりの値上を行う考えか。

●答弁―そのとおりです。

○質問―まったくひどい。介護保険会計では繰り入れ金が8億円減らしている。つまり区財政は軽くなるということだが、その要因はサービスを減らしたり、区民の自己負担を増やしたりということだ。サービスを減らし、区の負担は軽くしておいて、区民が納める保険料だけは15億円も値上げするというもの。保険料の値上げは基準額で1・36倍、年で1万3956円の値上げだ。税政改悪と重ねるとこれまで住民税非課税世帯で月額2400円だった人が4380円、または5300円へと2・2倍以上の負担増。この場合年額2万8800円が6万3600円へと、3万4800円の増となるがどうか。

やる気になれば保険料の据え置きはできる

●答弁―数字的にはご指摘のとおり。

○質問―介護保険制度の最大の欠陥はサービス量や事業者への介護報酬を引き上げると、保険料・利用料の値上げに連動していくこと。解決には抜本的な改善が必要だが当面、全国市長会も申し入れしているように国の財政負担を5%引き上げるだけで保険料すえおきは実現できる。ぜひやって欲しいが、自治体としても例えば浦安市は一般会

計から1億6450億円繰り入れて、試算額4533円を3780円に引き下げる方針を発表した。足立区もそうした考えに立って保険料の値上げを抑える考えはないか。

●答弁―一般会計からの繰り入れは国保のようになるので、繰り入れは将来にわたってしない。

○質問―一般財源の投入は政府も否定していないし、財源的に言っても区は最終補正で一気に138億円も積み立てる余裕がある。要はやる気だ、我が党は一般財源を繰り入れて値上げを抑える条例を提出する。

デイケア、デイサービスの昼食代、区の軽減策を

○質問―通所や入所施設の利用者の負担増も深刻だ。区議会に請願も出されている。昼食代はそれまで一食400円だったものが818円になる。施設側の負担も差額一食あたり200円から300円を負担して長期にわたると事業執行に支障が生じる。通所のデイケア、デイサービスの昼食代を4分の1助成し軽減することは約6425万円できる。

●答弁―通所のデイケア、デイサービスは給付の推移を見ながら検討する。

○質問―入所施設についても居住費の負担がかかっている。(入所者や施設の実態を紹介)ここへの負担軽減策もやる気になれば、月5000円の支援なら、1億4800万円余でできる。ぜひやって欲しい。

ヘルパー派遣がカットされたら……

○質問―軽度要介護者の家事援助はこれまで受けていた人の7割、2603人が受けられなくなるかと報告されている。ホームヘルパー全国連絡会の調査では「ヘルパー派遣がカットされたら」では



「①室内が散らかるが53・2%、②不潔になるが47・2%、③体力が低下するが34・6%」となっている。現場の声は国会でも厚生労働大臣も認めざるを得なかったもの。区として必要な人に支援ができるようにするべきだがどうか。日中独居になる高齢者の場合などはどうか。

●答弁―新予防は家事援助は一律カットはしない。適切なケアマネや同居家族の支え合いで行われる。